

身長と体重のあれこれ

園長 山中 文

愛知県から、令和4年度学校保健統計調査結果が届きました。

それを見ますと、幼児は、以下のようでした。

男児身長：全国平均 111.1cm 愛知県 110.8 cm 差 Δ 0.3cm

女児身長：全国平均 110.2cm 愛知県 110.2cm 差 0

男児体重：全国平均 19.3 kg 愛知県 19.0 kg 差 Δ 0.3 kg

女児体重：全国平均 19.0 kg 愛知県 18.8 kg 差 Δ 0.2 kg

愛知県の幼児は、身長も体重も全国平均よりやや小柄ですが、ほとんど全国平均に近い位置に
いることがわかります。

ちなみに、身長の男児全国1位は富山県の112.7cmで、女児全国1位は秋田県の111.6cmで
した。体重の男児全国1位は青森の20.1kgで、体重の女児全国1位も同じく青森の20.0kgで
した。これらを見ると、寒い地方の方に大柄の傾向があるように思えます。全国で一番低いのが身
長で男児香川県、女児佐賀県、体重で男児長崎県、女児長野・鳥取・佐賀県という結果からもそ
れがうかがえます。

それについては、ベルクマンの法則が有名のようですね。恒温動物であれば、同種でも寒冷地
に住むものの方が大柄になるというものです。あれやこれや考えると、愛知県は、ほんとうに日
本のまんなか位置しているのだなと思いました。

ところで、このような身長や体重は、年々徐々に増加傾向をたどってきていますが、令和2(2020)
年に始まった新型コロナウイルス感染症は、子どもの肥満に影響を与えたと言われています。そ
の頃は子どもに限らず、日本では4割の人の体重が増加したとのことです*。このことを確かめ
てみようとして上記の学校保健統計調査で令和2年度の記録を見たところ、小学生の全学年で2020
年度は前年度より体重平均が増加し、次年度から下がってきていることがわかりました。幼児と
中学生以上では必ずしもその傾向はありませんでしたので、コロナ禍で食物摂取や運動量で一番
影響を受けたのは小学生かもしれません。

数字からだけでも、いろいろな状況や背景がわかってくるものですね。

*杉原茂孝(2021), 小児の肥満に及ぼすコロナ禍の影響, 小児保健協会オンラインジャー
ナル第80巻第6号、655、